

Gear5.0 KME 製作活用ワークショップ 支援報告

報告者	千葉 裕弥	報告日時	令和5年2月20日(月)
実施場所	函館高専(生産総合演習室)	実施日時	令和5年2月18日(土)
参加職員	3名(樋口, 千葉, 今)		

・報告

高専機構では、「Society 5.0 型未来技術人財」の育成を目的として、令和2年度から [GEAR 5.0 \(未来技術の社会実装教育の高度化\)](#) と呼ばれる事業を実施しており、本校もその1分野である [介護・医工分野\(中核は熊本高専\)](#) に協力校として参加しています。この事業の中では社会実装を掲げており、その一環としてこの度「KME 製作活用ワークショップ」を開催し、当センターからも3名が企画、事前準備、及び当日の支援を行いましたので報告いたします。

今回のワークショップは赤外線リモコンの細かなボタン操作が難しい場合でも、触れることで操作が可能となるエミュレート機能の実装や、リモコンに搭載された不要な機能を削除することが可能な装置の製作を体験いただきました。このテーマは、特別支援学校(学級)において日常生徒指導をされている先生方の「こんなのがあったらいいな」という思いをもとに、本校の GEAR5.0 メンバーで内容を検討して決定しました。

ワークショップで製作していただいた装置は、KME (KOSEN Multifunctional Endpoint; 高専多機能端末) と呼ばれ、熊本高専で考案した各種電子装置の入出力をエミュレートできる M5stack をベースとした装置に、新たに赤外線機能を付加することで構成されています。

本ワークショップは、地域の関係機関との連携強化を踏まえ、特別支援学校(学級)の教諭や支援者などを対象としましたが、当日は10名の方が参加され5組に分かれて製作をしていただき、完成後に本校の演習室にあるプロジェクタのリモコンで動きや操作を確認いただきました。

参加者の方とお話をさせていただく中で、今回製作いただいたものにさらにどのような付加機能があれば便利か、どのような動作が望ましいかなど具体的な要望なども伺うことができ、次回以降や他高専で展開していく際の改善点などの課題も見える、貴重な機会を得たワークショップとなりました。



図1 今回製作いただいた KME デバイス